

## 地域安全学会年間優秀論文賞受賞者一覧

### 【2023 年度】

- ・寅屋敷哲也（ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター） 「南海トラフ地震の想定被災地の市町村における官民災害時応援協定の比較分析」
- ・佐藤 翔輔（東北大学） 「被災自治体による発災から復興過程におよぶ災害対応記録誌の作成プロセス：「みやぎの 3.11」 作成業務の観察・調査にもとづく実態把握」

### 【2022 年度】

- ・松下 哲明（有限責任監査法人トーマツ） 「東日本大震災が企業業績に及ぼした長期的な影響」
- ・池内 淳子（摂南大学） 「被災地の健康危機管理拠点となる保健所建物の目標設定—熊本地震における保健医療活動の調査を基に—」
- ・佐藤 翔輔（東北大学） 「行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践：東北地方公務員を対象にした風水害対応に関する研修事例」
- ・紅谷 昇平（兵庫県立大学） 「水害被災市町村の応急対応に対する当該都道府県による人的視点の役割」

### 【2021 年度】

- ・福島 秀哉（東京大学大学院） 「復興におけるコミュニティ単位の構造に関する研究 —岩手県上閉伊郡大槌町町方・吉里吉里地区の復興事業の実践を通して—」
- ・平山 修久（名古屋大学） 「旧耐震基準の住宅棟数減少と南海トラフ地震における災害廃棄物低減量に関する検討」

### 【2020 年度】

- ・佐藤 慶一（専修大学） 「福島原子力発電所事故後の双葉郡住民の精神的健康状態の社会的要因—2017 年第 2 回双葉郡住民実態調査の分析—」（地域安全学会論文集 No.37）
- ・野 貴泰（警察庁） 「犯罪多発地点の集中パトロールにおける犯罪抑止効果の評価実験」（地域安全学会論文集 No.37）

### 【2019 年度】

- ・澤田 雅浩（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科） 「割地制度の実態把握と被災地への応用可能性に関する一考察—新潟県長岡市信濃川沿岸での実態調査を通じて—」
- ・佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所） 「震災体験の「語り」が生理・心理・記憶に及ぼす影響：語り部本人・弟子・映像・音声・テキストの違いに着目した実験的研究」

### 【平成 30 年度】

- ・平山修久（名古屋大学） 「南海トラフ巨大地震時における災害廃棄物処理に係る災害対応リソース」

### 【平成 29 年度】

- ・三浦弘之（広島大学） 「数値標高モデルによる経験的な土石流氾濫域の予測手法の都市

域に対する適用性の検討」

**【平成 28 年度】**

- ・ 関谷直也（東京大学） 「東京電力福島第一原子力発電所事故後の放射性物質汚染に関する消費者心理の調査研究 -福島における農業の再生、風評被害払拭のための要因分析-

**【平成 27 年度】**

- ・ 大原美保（土木研究所） 「地域データの乏しいアジアの洪水常襲地帯における簡便な洪水リスク評価手法に関する研究 -フィリピン共和国パンパンガ川流域を対象として-
- ・ 三浦弘之（広島大学） 「非線形写像法による航空レーザ測量データの幾何補正とそれに基づく 2014 年広島豪雨災害での崩壊土砂量の推定」

**【平成 26 年度】**

- ・ 井若和久（徳島大学） 「持続の危ぶまれる地域での住民主体による事前復興まちづくり計画の立案初動期の課題と対策」
- ・ 藤岡正樹（東京工業大学） 「防犯カメラ映像を用いた大規模集客施設での地震時の人間行動分析-震度と人間行動の対応-

**【平成 25 年度】**

- ・ 佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所） 「東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析-宮城県石巻市を対象にして-

**【平成 24 年度】**

- ・ 佐藤慶一（専修大学） 「福島原発事故後の双葉地方からの避難者の精神的健康と復興施策への希求」
- ・ 田中聡（常葉大学） 「東日本大震災における津波被害の建物被害認定調査に関する考察」